



# 動物レスキュー通信

2015年6月 第25号 (平成27年6月1日発行)

発行元 一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財團

詩月(しづく)：詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
お問い合わせ：sizuku.foundation@gmail.com

TNRとは？

「好き」の人は一度や一度は野獣に食べ物を与えた経験があるのでないでしょうか？ まは私もあります。数年前までは私はただの愛猫家、ネ「好き」でした。愛

早いもので「」の動物レスキュー通信を発行を始めて3年目に突入しました。これもひとえに田舎の「」協力のおかげだと思っております。「」の場をお借りしまして感謝申し上げます。

現在の日本は動物愛護の觀点では決して先進国だとは言えません。世界には動物に対する考え方方が日本よりも進んでいる国がたくさんあります。その中でもドイツは殺処分のない国などと言われています。しかし実際は様々な理由で安樂死がゼロと言う事ではありませんが、その割合は日本よりも少ないものである事は確かです。ですがそれは犬の安樂死に関してのみ言える事なのです。というのもドイツでは野良猫の殺処分問題が深刻化しています。そこで2013年には動物保護法に飼いネコの去勢義務と、識別義務、登録義務の条文が加えられました。そしてそれだけではなく、全ての飼い主が早急に猫の適正飼育になる必要があります。そんな中、ドイツでも行われており、最近日本でも増えてきている野良猫を減らす取り組みとして注目されているのが地域猫活動(TNR)です。TNRとはTrap(捕獲)、Neuter(不妊)、去勢手術)・Return(元いた場所に戻す)の略です。ではなぜ「」のTNRが必要なのでしょう?

# 野良猫問題と 地域猫活動TNR



になつてしまつたのです。どうですか? もしかすると「んな腹筋環が生まれてしまつとは考えていなかつたかもしませんね。ではそれを「N.R.」変えるとどうなるのでしょうか?

なうではありません。そのためには、お住まいの地域で、近所の猫嫌いさんとあなたの話しあいが必ず必要なことがあります。猫嫌いさんはあなたの事を、「たたなえ」、「ニサを抱えている無責任な人だ」と思う事でしょう。しかしそうではなく、「ねはれつきとした社会活動で、将来的には野良猫を減らす、ネコの殺処分を減らす取り組みなど」という事を根気強く説明し、理解してもらう必要があるのです。そう、「このTNRは地域住民の協力なくしては絶対に成し遂げられない」と言つても過言ではありません。その後、捕獲器をセットし、動物病院で様々な検査をし、手術済みと一目でわかる印、耳の部分に入れ墨や「アスなど」をつけてから元いた場所に戻してあげるのです。もちろん民してあげるのではなく、人に慣れそうな性格の「子」なら、里親に出してあげる事も可能です。「つしてTNRを進めていけば野良猫は繁殖する事がないので、この輪の中に新たにネコを抱てる人がからない」という取り組みなのです。しかし、「このTNRにはすごい労力とお金がかかる」という事もあり、なかなかハードルが高い事も事実です。「このTNRに助成金を出している自治体や、無償で去勢・避妊手術をしてくれる動物病院も存在しますので、お住まい地域の情報を調べてみて下さい。もし野良猫にエサを与えている人を見かけたら、嫌な顔をする前にその人と「ミコケーション」を取つてみて下さい。もしかしたらTNR活動でネコを捕獲するために餌付けしている最中かも知れません。(説明)